

コンデンサ不具合原因の解明に貢献します

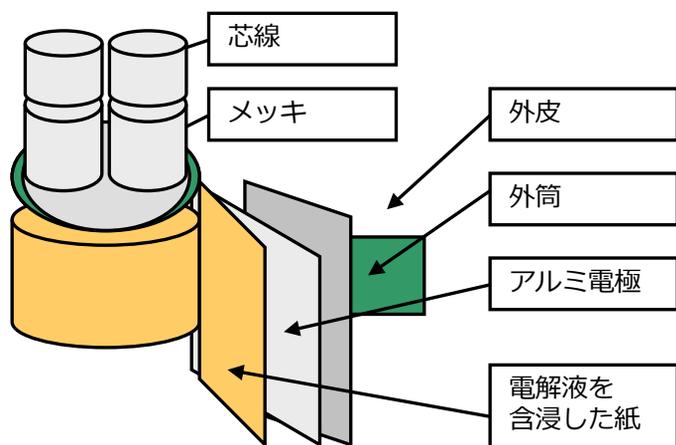
コンデンサ内イオン成分解析

■ 概要

アルミニウム電解コンデンサは、陽極用高純度アルミニウム箔表面に形成された酸化皮膜を誘電体として、陰極用アルミニウム箔、電解液、コンデンサ紙（電解紙）から構成されます。電解液の成分によって寿命には変化があり、成分によっては不具合の原因にもつながります。OEGでは、取り出した内部液の高感度イオンクロマト分析装置を使用する事による解析で、アニオン成分（フッ素、酢酸、ギ酸、塩素、亜硝酸、硝酸、臭素、リン酸、硫酸）、有機酸成分（酢酸、コハク酸、リンゴ酸、リン酸、硫酸、フマル酸）、カチオン成分（ナトリウム、アンモニア、マグネシウム、カルシウム、カリウム）の定量が可能です。

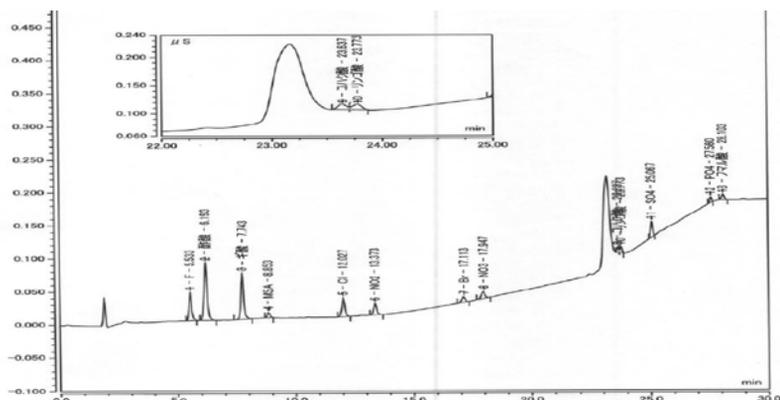
■ 特長

イオン成分分析では、高感度の解析が可能であると同時に、コンデンサ開封後の各部位の観察から、付着物がみられた場合には、蛍光X線分析などによる元素分析、赤外分光分析による有機成分の主体成分の定性、アルミニウム電解コンデンサ中の水分量のような解析がワンストップにて提供可能です。



例：コンデンサ内部部材

事例1 イオンクロマト分析実施例



アニオン成分（フッ素、酢酸、ギ酸、塩素、亜硝酸、硝酸、臭素、リン酸、硫酸）、有機酸成分（酢酸、コハク酸、リンゴ酸、リン酸、硫酸、フマル酸）を定量した例です。OEGのイオンクロマトでは、同時に検出出来るため試料量が少量でも解析可能です。

OKI 沖エンジニアリング株式会社

〒179-0084 東京都練馬区氷川台3-20-16

TEL : 03-5920-2300 (代表)

URL <http://www.oeg.co.jp/>

お問い合わせ先

沖エンジニアリング株式会社

環境事業部 調査分析グループ

TEL : 03-5920-2356

E-mail : oeg-env-div@oki.com